

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年8月31日発行

— 2017.8.21～2017.8.27—第34週—

赤字、赤枠内：平成29年9月1日訂正

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	患者数	累計	第29週	第30週	第31週
水痘		2 0.20				1 0.20		1 0.04	4 0.07	781				
流行性耳下腺炎	1 0.20	8 0.80			1 0.33			5 0.19	15 0.25	448				
百日咳									0 0.00	0				
感染性胃腸炎	25 5.00	33 3.30	8 1.60	15 7.50	11 3.67	10 2.00		138 5.11	240 4.07	10,164	◎	◎	◎	◎
手足口病	79 15.8	109 10.9	62 12.40	23 11.50	37 12.33	110 22.00	23 11.50	457 16.93	900 15.25	3,627	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	5 1							7 0.26	12 0.20	142				
突発性発しん	1 0.20	1 0.10	2 0.40	1 0.50	3 1.00	5 1.00		10 0.37	23 0.39	1,137	○	○	レ	
ヘルパンギーナ	5 1	31 3.1	13 2.60	5 2.50	17 5.67	17 3.40	2 1.00	38 1.41	128 2.17	591	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ						3 0.38		9 0.20	12 0.13	27,083				
咽頭結膜熱	1 0.20					1 0.20		10 0.37	12 0.20	1,345	○	レ		
流行性角結膜炎		4 1.33				1 1.00		1 0.17	6 0.50	98				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.40	18 1.80	3 0.60		1 0.33	8 1.60		17 0.63	54 0.92	5,351	◎	○	レ	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00		1 1.00	1 1.00	5 1.00	9 0.75	169				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	4 0.80	16 1.60	11 2.20	6 3.00	6 2.00	9 1.80		123 4.56	175 2.97	1,209	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	3		1			4	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病													
	不明発しん症	2						2						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

2. 全数報告疾病

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核

石巻管内 男性1名、女性1名
塩釜管内 男性2名
大崎管内 男性1名
気仙沼管内 男性1名
仙台管内 男性2名

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症(O157)

石巻管内 女性1名(第33週)
塩釜管内 女児1名※
仙台管内 女性1名、女児1名※
腸管出血性大腸菌感染症(O型不明)
大崎管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O103)
登米管内 女児1名※

4類感染症：レジオネラ症

仙台管内 男性2名、女性1名

5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症

仙台管内 男性1名 (Serratia marcescens)
男性1名 (Enterobacter aerogenes)
梅毒
塩釜管内 男性1名
大崎管内 男性1名

※女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第31週採取分 (7.31～8.6)	第32週採取分 (8.7～8.13)	第33週採取分 (8.14～8.20)
RSウイルス	5件	3件	6件
ヒトメタニューモウイルス	1件	0件	0件
アデノウイルス	1件	1件	0件
ライノウイルス	3件	0件	0件
単純ヘルペスウイルス	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス(2型)	1件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス(3型)	5件	3件	0件
パラインフルエンザウイルス(4型)	1件	0件	0件

* パラインフルエンザウイルス3型の分離が多い状態が続いています。

** 第28週からRSウイルスの分離が多い状態が続いています。

4. 今週のコメント

【手足口病】

手や足、口の中などに発疹ができることが名前の由来となっています。ウイルス性の感染症で、咳やくしゃみなどの飛沫や、便中に排泄されたウイルスに触れることにより感染します。患者は乳幼児が中心で、夏季に流行がみられます。今週県内では、先週と比較して患者報告数が2倍近く増加し、**全保健所管内**で、警報開始基準値である5人を大幅に超えています。流行が継続していますので、特に小さなお子さんのいる家庭では、手洗いの徹底など、感染予防対策に努めてください。

【RSウイルス感染症】

県内で、RSウイルス感染症患者が過去5年間で最も早い時期に増加していることから、県では8月31日に注意喚起を行いました。RSウイルスは、呼吸器系の感染症で、通常は冬季に流行しますが、今年は夏季から患者数が増加しています。石けんと流水による手洗いの徹底など、感染予防対策に努めてください。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

[手足口病]

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、
仙台管内で警報継続中

[ヘルパンギーナ]

登米管内で警報継続中

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

